

## 平成 27 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

## 1. 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定締結集落名：池間漁業集落

交付金額：1,768 千円（基本交付金のみ）

協定参加世帯数：20 人（うち漁業世帯 13 人）

集落漁業者平均所得：1,197 千円

## 2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、好漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や創意工夫を活かした取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、池間集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

## 3. 取組の内容

## ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

## ◇種苗放流（タマンの放流）

水産資源の維持・回復に向けタマン（ハマフエフキ）の放流を実施。

実施日	実施海域	放流数
H27.10.16	池間前南海岸	2,800 尾

## 実施状況写真



種苗積込状況



種苗放流状況

◇漁場の管理・改善（サメ駆除）

一本釣り漁業に漁業被害をもたらしているサメの駆除を実施。

実施状況写真



駆除の状況



駆除されたサメ

◇漁場の管理・改善（浮き魚礁の製作）

一本釣り漁業等の操業安定化を図るためにパヤオの設置を計画。今年度はロープ資材のみ購入。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

◇高付加価値化

鮮魚の鮮度保持手法である活け $\times$ 神経抜きの効果を科学的に検証するため、分析機関に鮮度保持検証試験を委託実施。

4. 取組の成果

漁場の生産力の向上に関する取組においては、ハマフエフキ（タマン）の放流により水産資源の維持・回復が見込まれ、放流漁場での漁業の継続性に繋がるとともに、サメ駆除の実施により漁業被害の軽減が見込まれ、一本釣り漁業の漁獲量が安定と伝統漁法である石巻落とし漁業の継承が期待される。

漁業の再生に関する実践的な取組においては、高付加価値化の取組として活け締め神経抜きの効果を科学的に検証したことで、漁獲物のブランド化に向けた価値向上が期待されている。